

第4編

連携大学の取り組み

1. 新潟大学における平成20年度事業報告

1-1 学生募集と入学状況

入学者及び在学生に対して積極的に周知を行っている。
がんプロコースに13名が登録している。下記（次頁ポスター参照）のがんプロにおける授業科目には、毎回、登録者以外にも平均10名程が参加している。

1-2 大学院教育の進捗状況

がんプロプランに特化した授業項目の充実を図った。
1コマ90分間の講義を40コマ実施し、かつ、e-learningに供するために録画しDVD教材を作成した。
入学者及び在学生に対して積極的に周知を行い、参加者を募っている。

1-3 公開講座等の実施状況

平成19年度は市民公開講座「がん治療は今」を実施し120名の参加があった。本年度は実施計画を検討中である。

1-4 次年度事業計画（案）

今年度と同様に講義を行い、内容等についてもより充実させたい。
また、新潟県立がんセンターとの連携により、広範囲な実習（がんの化学療法、放射線療法、緩和医療を中心とし、がん薬剤療法専門医の認定基準を満たすカリキュラムとする）の実施を予定している。

1-5 平成21年度学生募集（案）など

学内外に対して幅広くまた積極的に広報し「実践的・横断的ながん教育・研究を行う」というスローガンのもと登録学生を増やしたい。

1-6 ポスター

平成20年度 **がんプロコース** における 授業の実施についてのご案内

期間 平成20年10月6日～平成21年2月4日
時間 17時30分から19時くらいまで
場所 302共同集会室(第3講義室横)

9月9日付医学科教授会議において、文部科学省大学院GPがんプロフェッショナル養成(がんプロ)コースの中間まとめが承認されました。
 これに伴い、がんプロ登録大学院生、その他の大学院生、およびがん治療に興味のある関係者を対象として10月からがん治療に係る講義を開講する事としました。
 講義レベルにつきましては、癌治療認定医合格レベルを想定しております。

**対象は登録大学院生ですが がんの治療に興味のある学生、
 医師、コメディカルの皆さんの出席を歓迎します。
 出席された方には出席証が交付されます。**

平成20年度 がんプロコースにおける授業科目一覧

月日	大項目	科目	教員
10月6日	がんの基礎と疫学	がんの生物学	木南 凌(生化学第一)
10月7日			木南 凌(生化学第一)
10月8日			藤井 雅真(ウイルス学)
10月9日			藤井 雅真(ウイルス学)
10月10日		腫瘍免疫学	田中 憲一(八幡 哲郎)(産婦人科学)
10月14日		がんの発生、疫学、スクリーニング、発がん予防	田邊 直仁(公衆衛生学)
10月15日			中村 和利、土屋 康雄(衛生学)
10月16日			中田 光(生命科学医療センター)
10月17日		統計を含む臨床研究	田邊 直仁(公衆衛生学)
10月20日			赤澤 宏平(医療情報部)
10月21日	中田 光(生命科学医療センター)		
10月22日	悪性腫瘍の病理診断	味岡 洋一(病理学第一)	
10月23日		青柳 豊(内科学第三)	
10月24日	がんの治療法と管理	がんの治療法	笹井 啓資(放射線医学)
11月4日			放射線治療法の原理と方法
11月5日		化学療法	菅井 啓資(放射線医学)
11月6日			吉澤 弘久(生命科学医療センター)
11月7日			吉澤 弘久(生命科学医療センター)
11月10日		生物学的治療	吉澤 弘久(生命科学医療センター)
11月11日		がん緩和医療	がんセンター 塚田 裕子

月日	大項目	科目	教員
11月12日	がんの治療法と管理	腫瘍関連救急医療	がんセンター 張 高明
11月13日		がんセンター 今井 洋介	
11月14日		癌患者の栄養管理	小山 謙(外科学第一)
1月13日	悪性疾患の管理と治療	精神腫瘍学	染矢 俊幸(精神医学)
1月14日		休講	
1月15日		頭頸部腫瘍	佐藤 克郎(耳鼻咽喉科学)
1月16日		肺・縦隔腫瘍	がんセンター 横山 晶
1月19日		乳腺腫瘍	小山 謙(外科学第一)
1月20日		胃癌・食道癌	神田 達夫(外科学第一)
1月21日		消化管癌の内視鏡治療	小林 正明(内科学第三)
1月22日		結腸癌	飯合 恒夫(外科学第一)
1月23日		肝、胆、膵腫瘍	白井 良夫(外科学第一)
1月26日		肝癌の内科治療	須田 剛士(内科学第三)
1月27日		泌尿器腫瘍	斎藤 公太(泌尿器科学)
1月28日		婦人科腫瘍	田中 憲一(産婦人科学)
1月29日		骨、軟部腫瘍	生越 章(整形外科)
1月30日		皮膚科腫瘍	がんセンター 竹之内 辰也
2月2日	血液悪性腫瘍	芒川 達雄(高密度放射線治療部)	
2月3日	小児腫瘍	がんセンター 小川 淳	
2月4日	脳腫瘍	藤井 幸彦(脳神経外科学)	

2. 明治薬科大学における平成20年度事業報告

2-1 学生募集と入学状況

本年度から、大学院研究科臨床薬学専攻において、従来からの病院薬学コースと共に「がんプロフェッショナル養成コース」を設置し、学生募集を開始した。今年度は7月の1次募集で応募者中9名が「がんプロフェッショナル養成コース」を希望した。試験の結果全員が合格したが、順天堂大学薬剤部との事前の話し合いで、当面「がんプロフェッショナル養成コース」の定員は5名としてあったため、9名中4名は病院薬学コースに転コースした。今年度の募集で特記すべきことは、本コース応募者9名中2名は他学出身者であったことである。本コースに対する周知度の高まりを示すものであった。

11月に実施された2次試験と社会人入試では、すでに定員が満たされているため合格者はいなかった。博士課程学生においては、本コースへの志望者はいなかった。

2-2 大学院教育の進捗状況

大学院教育はすでに提案している教育プログラムに従って行われている。本学から、順天堂大学における2008年度「がん専門医師養成コース（コンポーネント2）」への参加は希望者13名が延べ68回講義を受講した。また、学生2名が「がん専門医師養成コース（コンポーネント1コア実地修練I）」に参加を申し込み、延べ11回の受講を果たした。

明治薬科大学が実施している臨床薬学特論（夜間講義）は、従来どおり紀尾井町剛堂会館キャンパスにおいて実施されている。

2-3 公開講座等の実施状況

公開講座については、毎回開催日時を学内にメールにて周知し、ポスターを学内掲示板に掲示し参加を促している。今年度残念であったのは、「順天堂大学 がん生涯教育センター」主催のチーム医療合宿（9月13・14日）が、折悪しく学内の大学院学生の必修単位化されている症例検討会の日時と重なったことであった。次年度は日程調整の上で参加したい。

2-4 次年度事業計画（案）

今年度までは、がん専門薬剤師養成に関係する消耗品教材を中心に整備してきた。平成21年度は教育新棟も落成するので、がん専門薬剤師教育を一層充実させたい。

3. 東京理科大学における平成20年度事業報告

3-1 学生募集と入学状況

【学生募集】

- ・平成20年度薬学研究科修士課程学内選考…平成19年7月2日（月）面接試験実施
- ・平成20年度薬学研究科修士課程一般選抜…平成19年8月23日（木）筆記試験実施
平成20年度薬学研究科修士課程一般選抜…平成19年8月24日（月）面接試験実施
- ・平成20年度薬学研究科修士後期課程入学試験
…平成20年3月3日（月）口頭試問実施
- ・平成20年度薬学研究科薬学専攻修士課程がんプロフェッショナル部門
…平成20年2月20日（水）口頭試問実施

【入学状況】

- ・修士1年 3名（内1名は退学）
- ・博士1年 2名

3-2 大学院教育の進捗状況

本学ではカリキュラムの構成を「がんプロフェッショナル特論1」「がんプロフェッショナル特論2」「がんプロフェッショナル特論3」として、がんの基礎から臨床に渡る幅広い講義を行い、がんトランスレーショナルリサーチの活性化を図っている。現在の進捗状況は「がんプロフェッショナル特論1」でがんに関わる基礎講義を行っており、「がんプロフェッショナル特論2」では、チーム医療における薬剤師の役割として、がん混合調製の実習を行い、今後、レジメン管理や薬学的管理などの実践的な実習をがん専門薬剤師の外部講師を招き、行う予定である。さらに来年度は「がんプロフェッショナル特論3」としてがん治療各論を行い、内容の充実を図っていく予定である。

3-3 公開講座等の実施状況

「がんプロフェッショナル養成コース新設記念シンポジウム」を8月15日に実施。

3-4 次年度事業計画（案）

【開催予定】

- ・がんプロフェッショナル特論1
 - ・がんプロフェッショナル特論2
 - ・がんプロフェッショナル特論3
- ※講義、実習の充実化を図る。

3-5 平成21年度学生募集

- ・平成21年度薬学研究科修士課程学内選考…平成20年7月2日（水）面接試験実施
- ・平成21年度薬学研究科修士課程一般選抜…平成20年8月21日（木）筆記試験実施
平成21年度薬学研究科修士課程一般選抜…平成20年8月22日（金）面接試験実施
- ・平成21年度薬学研究科博士後期課程入学試験
…平成21年3月2日（月）口頭試問実施
- ・平成21年度薬学研究科薬学専攻修士課程がんプロフェッショナル部門
…平成21年2月20日（金）口頭試問実施

3-6 シンポジウム報告

東京理科大学大学院薬学研究科がんプロフェッショナル養成コース新設記念シンポジウム報告

8/15に森戸記念館に於きまして、東京理科大学大学院薬学研究科がんプロフェッショナル養成コース新設記念シンポジウムが開催されました。当日はお盆の最中であり、朝からの猛暑で参加者が集まるかどうか心配されましたが、予想を上回る約60名の方にご参加いただきました。

最初に東京理科大学 竹内 伸学長にご挨拶をいただき、順天堂大学を代表者とした文部科学省19年度「がんプロフェッショナル養成プラン」に、明治薬科大学、立教大学、本学の大学院薬学研究科が共に申請した「実践的・横断的がん生涯教育センターの創設」プログラムが採択されたのを受けて、本学修士課程、博士課程に「がんプロフェッショナル養成コース」を新設した経緯についてお話がありました。

シンポジウムでは、まず、東京理科大学薬学部臨床薬理学 谷中 昭典教授より、「消化器癌のリスクファクターと食品によるがん予防戦略—医薬連携によるトランスレーショナル・リサーチの重要性—」として、現在進行中の臨床研究や、東京理科大学トランスレーショナル・リサーチセンター構想についてのご講演をいただきました。次に順天堂大学医学部臨床薬理学教授(順天堂医院薬剤部長)佐瀬 一洋先生より、「病院薬剤師に期待される役割—医療安全とEBMを核にしたチーム医療—」について、チームの医療安全に貢献する薬剤師像についてご講演いただきました。

コーヒープレイクを挟み、後半には東京理科大学 工学部第一部 経営工学科浜田 知久馬教授より、「臨床研究のデザインと解析」と題して、生物統計学についてわかりやすく例を挙げて御講演いただきました。そして、ぜひトランスレーショナル・リサーチを活性化させるために、臨床統計センターを作りたいというお考えを述べられました。柏市立柏病院 薬剤師長 石井 直子先生は、本学がんプロフェッショナル養成コース博士課程の学生であり、「がん臨床研究への一歩を踏み出して—社会人学生としての展望—」という内容で、実際に臨床研究を踏み出した経緯について、ご講演をいただきました。また、国立がんセンター東病院薬剤部の松井 礼子先生には、「臨床薬剤師を目指して—がん専門薬剤師の立場より—」という実際のがん専門薬剤師としての業務内容についてご紹介いただきました。

総合討論は、座長の労を国立がんセンター東病院薬剤部長の遠藤 一司先生にお取りいただき、シンポジストの各先生より、それぞれのお立場からトランスレーショナル・リサーチの活性化に向けて、メッセージをいただきました。また、がんプロフェッショナル養成コースの新設にご尽力されました東京理科大学薬学部 寺田弘教授より、今後、順天堂大学とさらに連携を強化したいというご意向が述べられました。そして、最後に順天堂大学木南 英紀学長より、今後、さらにチーム医療を推進するうえで、医師と薬剤師の連携を強化するために、教育プログラムについて試行錯誤しながら、前進しつつある旨のご挨拶をいただき終了となりました。

その後の懇親会では、連携大学をはじめとして、他大学教員、現場医師、病院薬剤師、保険薬局薬剤師、製薬会社、大学生、大学院生など、多岐にわたる参加者同士の意見交換がなごや

かに行われ、閉会となりました。

本シンポジウム開催にあたりまして、ご尽力いただきました方々に心より感謝申し上げます。

2008年8月15日

東京理科大学大学院薬学研究科がんプロフェッショナル養成コース新設記念シンポジウム企

画責任者：東京理科大学薬学部

小茂田 昌代

4. 立教大学における平成20年度事業報告

4-1 学生募集と入学状況

- 医学物理士養成プログラム（立教前期課程修了→順天堂大学医学研究科への推薦制度）
登録者1名（理学研究科物理学専攻前期課程2008年度入学者）

＜課題＞ 登録者の増加・継続

就学期間（5年→7年）の延長による経済負担増から、登録者が少ない。医学研究科進学後の経済的な援助制度（奨学金や学費免除制度など）の対策が急がれる。

- インテンシブ（医学物理士・基礎）研修コース

登録者4名

全員修了（順天堂大学医学研究科長、立教大学理学研究科委員長により修了者にコース修了証を発行）
・大学の履修証明制度の創設にともない、検討を行ったが、120時間（1時間＝60分）の条件を充足しなかった。他プログラムとの組み合わせを視野に再検討。

4-2 大学院教育の進捗状況

平成20年度から大学院理学研究科物理学専攻で医学物理士養成プログラムを開始した。物理学専攻に既存の科目の他、医学関連の科目を新たに新設した。平成21年度には情報処理学、インターンシップも開講され、このプログラムが完成する。表に開講科目を示す。（括弧内の数字は単位数）

区分	所定単位	科目名
必修	10	医学概論（2）、放射線計測特論（2）、放射線物理学（2）、電子工学特論（2）、放射線計測演習（1）、インターンシップ（1）
選択必修A	4	原子核特論（2）、宇宙放射線特論（2）、原子核物理学（2）、原子分子物理学（2）、原子分子物理特論（2）
選択必修B	4	放射線生物学特論（2）、情報処理学（2）、放射線治療物理学（2）

4-3 公開講座等の実施状況

2008年11月22日（土）場所：立教大学 参加者：約90名

主催：（社）日本物理学会キャリア支援センター、日本医学物理学会

協賛：立教大学、日本放射線腫瘍学会、順天堂大学がん生涯教育センター

（社）日本物理学会-日本医学物理学会 第2回合同シンポジウム

「物理学と医学の融合－医学物理士を取り巻く実状と今後」

4-4 次年度事業計画（案）

基本的には、平成20年度の事業計画を推進する。

4-5 平成21年度学生募集（案）

昨年度に引き続き、インテンシブ（医学物理士・基礎）研修コースのアナウンスを関係部局にお願いしたい。